米粉榮養兒ニ來ル病的變状ニ就テ

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/38377

モノナリ

（因ニ謂フ前臟位轉錯症ノ一例ニ就テノ記事中檢丁數五三二三名トセシハ誤リニシテ五三二一名ナリ茲ニ訂正ス）

◉米粉榮養兒ニ來ル病的變狀ニ就テ

岡本京太郎

私ガ只今御話致ソートト思フノハ、摺粉或ハ重湯或ハ「オネバ」デ以テ養ハル、哺乳兒ニ現ハレル一種ノ病的變狀デアリマス

抑〻含水炭素特ニ穀類ノ粉汁ヤ其ノ煎汁ヤ又ハ其煮詰タ粘液ヲ小兒ノ榮養ニ用ユルコトハ、以前ハ殆ド禁忌ノ樣ニ見做シテ居リマシタガ、近來牛乳ナドデ十分發育セズ、或ハ爲メニ或ル病變例之バ Kinderatrophie ナドヲ起シタモノヤ、或ハ其ノ他ノ消化障碍ニ罹ルモノニ、牛乳ニ此ノ穀粉即チ Mehl ヲ加ヘテ與フレバ著シキ效能ガアルノヲ發見シテ以來、西洋デモ之ガ人工榮養ノ一要素トシテ盛ニ用ヰラレテ居リ、遂ニ之ガ爲ニ一種特異ノ病氣カ起ルノニ氣ガ付キ、之ヲ Czerny u. Keller 氏ハ Mehlnährschaden ト名ケテ居リマス

我國ニテハ昔カラ米ノ摺粉ナドデ小兒ヲ養育スルモノガ澤山アリマスガ、之ガ爲ニ一種ノ病變ガ現ハルヽコトヲ始メテ報告シタノハ京都ノ三宅宗淳君デ、今ヨリ數年前ノコトデス、夫カラ唐澤、豐嶋、長田、本莊、藁科ナドノ諸君ガ報告ナサレテアリマスガ、或ハ之ヲ『乳兒脚氣類似症』ト題シマシタリ、或ハ『米粉ニヨル一種ノヂスペプシー』ト稱ヘタリ、或ハ『メールネールシャデン』ト見做シタリシテ說ガ一致シテ居リマセヌ

最モ西洋デモ之ヲ一種ノ獨立シタ病氣ト見做スコトヲ肯ゼヌ學者モ多イノデ、單ニ消化器病者ニハ榮養病ノ原因ノ一ニ算ヘテ、特ニ之ヲ一病トシテ記載セヌ書籍モ少クハアリマセヌガ、我國ノハ大抵一種特異ノ病氣トスルコトニハ異論ガナイ樣デアリマス、唯ダ之ヲ Czerny 氏等ノ云フ Mehlnährschaden ト同シモノト見做スノト、之ト異ツタモノト信ズル二派ガアルノデ、乙ノ論者ハ多クハ症狀ガ乳兒脚氣ニ似テ居ル所カラ、脚氣ト米トノ關係ヲ連想シテ哺乳兒ノ脚氣デハアルマイカト疑テ居ル樣ニ見ヘマス兎モ角、穀粉ノ榮養ニヨリテ哺乳兒ニ或ル病變ノ來ルコトハ確デアリマスガ、穀紛ト申シテモ色々種類ガアリマスシ、又調理ニモ種々ノ方法ガアリマスシ、分量ニモ差違ガ出來マスシ、其他子供ノ年齡及個人性（Individualität）ナドノ變狀ガアリマスルカラ、甚ダ複雜シテ參リマシテ、爲メニ起ル病變ハ果シテ一種ノモノデアルカ、或ハ多種ノモノデアルカサヘ輕々ニ斷定スルコトノ出來ヌモノデアルカラ、況ンヤ私等ノ實驗スルモノハ果シテ「メールネールシャデン」デアルカ哺乳兒ノ脚氣デアルカ乃至ハ一種ノ「ヂスペプシー」ト稱スベキモノデアルカ、今後十分ノ研究ヲ積ダ上ナラデハ俄ニ判定スベキモノデナイト信ジマスル故ニ、演題ハ只漠然ト『米粉榮養兒ニ來ル病的變狀』ト致シタ譯デアリマスガ、勿論其病變ハ米粉榮養ニ由來スル特異ノモノト信ズルノデアリマス、扨テ私ノ實驗ヲ申シ上ルニ先チ、西洋ニ所謂 Mehlnährschaden トハ如何ナル病變ヲ云フノデアルカ、又日本ノ報告ニアル病變ハドー云フ風ノモノデアルカヲ御話シテ、比較シテ見ルノガ必要デアロートト思ヒマス

第一ニ「メールネールシャデン」ト申スノハ如何ナル症狀經過ヲ持ツカト云ヒマスト、大便ハ著シク膵汁ニ、染マツテ居テ黃色乃至褐色ヲ呈シ、彼ノ Milchmühlrschaden ノ Seifenstuhl ノ樣ニ乾燥シテハ居ナイ、ソーシテ不變化ノ澱粉ヲ含有シテ居マス、性ハ常ニ酸性デアツテ、醱酵ノ强クナイ場合ハ臭氣ハ弱イデスガ、醱酵ノ盛ニ起タ場合ハ脂酸ノ樣ナ臭氣、時トシテハ醋酸ノ臭ガ致シマス、又醱酵ガ中等度デ粘液ノ多ク出ルトキハ腐敗產物ノ臭ヲ放ツ樣ニナルコトモアリマス、○夫カラ小兒ノ外觀ハ輕症ノトキハ、良ク發育シテ脂肪組織モ十分アリ、血色モ良イ樣ニ見ヘマスガ、時々鼓脹ヲ呈シテ居リマス、一汎筋力モ十分デ「トーヌス」モ良イノデアリマスガ、少ク病機ガ進ミマスト硬クナリマシテ筋ノ「コンツール」ガ見ヘル樣ニナリマス、ソーシテ他動的ニ動カソートスレバ抗抵ガアツテ所謂 Hypertonie ノ狀態ニ進ミマス、ソーナルト上下肢ハ輕ク內轉シ、腕ハ肘關節ヲ屈曲シ上腿ハ常ノ樣ニ腹部ニ接著セズ、足趾ハ輕ク背屈位ヲ取ルノデアリマス、斯樣ナ Hypertonie ハ常ニ重症ヲ意味スルモノダソーデス、其他筋ノ電氣興奮ガ高マリテ遂ニ「テタニー」ヤ子癇發作ヲ來スコトガアリマス、○夫カラ體重ガ增加セヌ樣ニナリ、進デハ著シキ羸瘦ニ陷リ Atrophie ニナリマス、併モ此體重減少ハ下痢ナドノ合併ガナイ場合ハ普通徐々ニヤツテ來ルノデ、急ニ減退スルノハ多クハ下痢ヲ合併スル場合ニ限ルノデス、一體本病兒ハ、傳染ニ對シテ抵抗力ガ甚ダ弱クナルノデ、下痢ノ外ニ氣管枝肺炎ヤ咽頭炎、中耳炎、膿瘍、蜂窠織炎等ニ罹リ易クナリマス、○皮膚ノ狀態モ前申シタ通リ輕症ノモノハ立派ナ外觀デアリマスガ、病機進行シマスト蒼白ニナリ、皮下脂肪モ減ジテ tedgig ニナツテ來マス、又著明ナル浮腫ヲ來スコトモアル、○ソレカラ重症ノモノハ結膜乾燥症、角膜軟化ヲ來シマス、○凡テ是等ノ症狀ハ小兒ノ幼少ナルホド强度デアリマス、○療法トシテハ Meil ヲ止メ、母乳カ牛乳ナドノ脂肪ノ多イモノヲ與フレバ治癒致シマスガ、勿論重症ノモノハイクラモ死ノ轉歸ヲ取ルノデアリマス

次ギニ本邦ノ報告ノ病狀ハドー云フモノデアルカト申シマスルト、患兒ノ營養ガ惡クナツテ羸瘦シ、皮膚ハ蒼白トナリ、往々口脣、四肢ノ末端ニ「チアノーゼ」ガ現ハレル、音聲ガ嗄澁シ、甚シイノハ Aphonie トナル、多クハ呻吟（Stöhnen）スル、呼吸ハ氣管枝、肺ノ異常ナキモノニモ促迫シテ來ル、脈搏ハ著ク頻數デ時トシテ肺動脈第二音ノ亢進ヤ、稀ニ心右室ノ肥大ヲ見ルコトガアル、又嘔吐ノアルモノモアリ、大便ハ多クハ軟便デアルガ下痢ハ少イ、利尿ハ減少スル、四肢、顏面、甚ダシキハ軀幹ニモ浮腫ヲ來スコトガアル、而シ尿ニ蛋白ハ認メヌ、腹部ハ中等大ニ膨滿スルモ著シキ變狀ガナイ稀ニ四肢ノ筋ガ前申シタ樣ナ Hypertonie トナルモノガアル多クハ氣管枝加答兒ヲ合併スル、但シ熱ハナイ、先ヅザツトコー云フ樣ナ症狀デ米粉製ノ養料ヲ止メ、牛乳又ハ「コンデンスミルク」ニ代ヘレバ大抵一二週ノ間ニ治ルガ、重症ナノハ亦死ニ至ルト云フコトデアリマス

サー、コー兩方ノ記載ヲ比較シテ見マスト、似タ所モアリ又似ヌ所モアリ、兎モ角全然一致シテ居ルトハ云ヘヌノデアリマス、併シ元來西洋ノ Meil ハ多クハ麥ノ種類デ、日本ノハ大抵米デアルユヘニ、同樣ナ機轉デ起ル榮養障碍デモ多少ノ違ハ亦有リ得ベキ筈デアロート思ヒマスカラ、勿論兩者全然相異ル疾病ダト申スコトモ亦出來ヌノデアリマス、夫カラ日本ノ報告例ハ彼ノ乳兒腳氣ニ類似シタ點ガ多イト云フノデ、「乳兒腳氣類似症」ナド

ト名ケル方モアリマスガ、弘田博士ナドハ本病ノ脈搏呼吸ノ早クナルノハ乳兒脚氣ノソレノ樣ニ著明デハナイ、又本病ノ聲音嗄嘶ハ早ク治ルノデ乳兒脚氣ノ聲帶麻痺トハ餘程趣ガ違フト云ハレテ居ル、コー云フ風デ本邦ノ米粉榮養兒ニ來ル特異ナル病變ノ本態ハ未ダ明ニ分ツテハ居リマセヌソコデ私ノ症例ハ昨年夏カラ本年ニ懸カテ九例アルノデアリマスガ、其中四例ハ只一寸見タ許デ經過モ更ニ分ラズ、十分ナ記憶モアリマセヌ故、玆ニ具體的ニ御話シスルコトガ出來マセヌカラ、比較的明ニ Protokoll ニ殘テ居リマス五例ニ就テオ話シ致スノデアリマス、併シ病歷ヲ讀ミ上ゲマスト長クナリマスカラ、玆ニ拔萃シタ表ヲ持テ參リマシタユヘ之ヲ御覽ニ入レマス

別　表

先ヅ「性」ニ付キマシテハ男三人女二人デ著シイ差違ガナイ、「年齡」ハ二ケ月カラ六ケ月迄デ皆哺乳期ノ前半年ノモノデアリマシテ、澱粉消化力ナドノ弱イモノバカリデアリマス、「兩親ノ家計」ハ皆貧イモノヽミデ、「都市」ノ關係ハナイヤウデアル、「榮養法」トシテハ單ニ米粉ノ「ブツペ」(Suppe)若クハ Abkochung ノミデ養タモノモアリ、中ニハ之ニ極ク僅カノ牛乳或ハ「コンデンスミルク」ヲ加ヘテ與ヘテ居ルノモアリマスガ、皆米粉榮養兒ト申シテ差支ハナイノデアリマス、「發病前ノ食思便通健康狀態」ナドハ母ノ話ニヨルノデ、最ヨク確ナコトハ分リマセヌガ、大抵皆良イ方デアリマス、「發病年齡」モ亦母ノ言フコトデ不確デハアリマスガ、米粉榮養ト此發病時期トノ間ハ早イノガ一ケ月以內デ長イノハ三ケ月間モ別條ガナカツタ樣ナ姿ニナツテオリマス、「發病時季」ハ春ノ末ガ多イヤウデアル、誘因ト申スノハ母ガ本病ノ發現ヲ促シタモノト信ジタ動機ヲ申スノデ、此例ノ他ニ種痘ノ爲ニ惡クナツタト申シタノガアリマシタ、「發病後ノ榮養」ハ皆變更シテナイノデアリマスカラ、本病兒ノ症狀ト榮養ノ關係ヲ見ルニハ單調デ都合ガヨカロート存ジマス、夫カラ症狀ノ中デ「食思」ハ皆減退シテ居マス、「便通」ハ一日一回乃至三四回ノモノガ多クテ、著シキ下痢ヤ便祕ハ少イ樣デアリマス、「嘔吐」ハアルモノモ、ナイモノモアリ、「尿利」ハ減少スルノガ多イ、「羸瘦」ハ皆著明デアリマスガ、浮腫ノ著イトキハ、爲メニ瞭ハレテ一見瘦テ居ラヌ樣ナ外觀ヲ呈スルコトモアル、「氣分」ハ不機嫌或ハ Apathie 狀デ又嗜眠スルモアリマス、聲音ハ嗄嘶スルモノモアリマスガ、嗄嘶ノナイノモアリマス、此第二號ノ嗄嘶ハ面白イノデ、唯ダ低キ聲ノトキ或ハ啼泣セントスル始メダケニ嗄嘶ガアルノデ、強ク啼泣スルトキノ音聲ハ Heiserkeit ヲ帶ビテ居ナイ、丁度咽頭ノ乾燥シタトキ或ハ喀痰ノ附著シタトキニ鳥渡聲ガ出惡クテ、咳一咳スルカ或ハ水ヲ呑ンダ後ニ聲ガ出ルノト同ジヤウナ有樣デアリマシタ、夫カラ第四號ノ兒ハ嗄嘶ナシトシテアリマスガ、此病機ガ再發シタ時ニハ明ニ嗄嘶ヲ來シマシタ、「咳嗽」ハ皆輕咳デ、中ニハ哺乳ノ際ダケ、ムセプ樣ニ出ルノガアリマス、顏色ハ皆蒼白ニナツテ居マス、「皮膚」ニハ皆浮腫ヲ以テ居マシテ、輕イノハ下脚足背ダケデスガ、強イノハ上肢軀幹顏面ニモ著明ニ現ハレマス、「痙門」ハ皆稍ゝ凹陷シテ居リマシテ、「眼」ニハ乾燥症角膜軟化ヲ有スルモノガ二例、結膜加答兒ヲ有ツタモノガ二例アリマス、此眼患就中 Xerosis, Keratomalacie ハ只偶然ノ合併症トハ思ハレマセヌ故、本病ノ本態ヲ知ルニ重要ナ症狀デアロート存ジマス、「頰」ハ皆所謂著ク垂頰ニナツテ居テ、一般小兒ノ頰ト

ハドーモ違フ樣ニ思ハレル、「口唇、舌」ニハ「ラガーデン」ヤ鵞口瘡ガアリ、又粘膜ノ乾燥スルモノモアリマスガ、「口唇」ノ Cyanose ハ認メマセナンダ、「腹部」ハ大抵弛緩シテ居リ、著ク膨滿シタモノハアリマセヌ、「肝臟」ハ小且硬ク觸レルノガ多イ「脾臟」ハ皆觸レマセヌデシタ、「腸」ニハ格別ノ變狀ヲ認メヌ、「肺」ニハ特別ノ變狀ガアリマセヌ、「心」ハ音調ノ高イノガ多イ他ハ著キ變狀ガナイ、他ノ方ノ御報告デハ Tachycardie カ多イ樣ニ見ヘマスガ私ノ例ニハ著キ心悸亢進ハアリマセヌデシテ、却テ此第四號ノ兒ハ再發シテ死亡スル十時間前ニ參リマシタガ、其時ハ著ク Brudycardie ニナツテ居リマシタ、又此表ニハ乘テ居マセヌガ、最近見マシタ一例モヤハリ心搏ガ遲徐デアリマシタ、「筋」ハ少ク hart ノモノモアリマシタガ、Hypertonie ト云フ樣ナ狀態ハ見マセヌデシタ、「腱反射」ハ兵藤蓋腱反射ノミヲ見タノデスガ、皆異常ガナイ、「脈」ニハ特別ノ變狀ヲ認メマセヌ、勿論著シキ脈搏頻數ハナカツタ樣ニ記憶シテ居リマス、ソレカラ「呼吸」、之ハ私ノ「プロトコル」ニ明記シテアリマセヌノガ多イ故、茲ニハ「？」ガ多イノデアリマスガ、著キ Polypnoe ナドガナカツタト思ヒマス、若シ之ガアレバ記載シテ置ク筈デ、ソー輕々ニ看過シタ譯デハアリマセヌ、嚬ロ反對ニ正鞏遲徐トシテアルノガ一例アリマス、「體溫」ハ御覽ノ通リ、合併症ノナイノハ平常デ、「體重」ハ皆相當年齡ノ兒ヨリ甚シク少イノデアリマス、「大便」ハ主トシテ黃色軟膏狀デ酸性デアリマス、粘液等ノ異常物ハナクhomogen デ強度ノ沃度反應ガアリマス、「尿」ニハ格別ノ變狀ガアリマセヌ、只第二號ニハ蛋白等ノ異常成分ガアリマスガ、之ハ Pyelonephritis ヲ合併シテ居ルノデ偶然ノ事ト思ハレマス、「其他ノ症狀」トシテハ啼泣發作ノアルモノガ多ク、子癇樣發作ノアツタノガ一例アリマス、「合併症」ハ御覽ノ通リデ、「療法」トシテハ、主トシテ肝油ヲ與ヘ、榮養ハ或ハ全ク「コンデンスミルク」ニ代ヘ或ハ煎米粉汁ニ牛乳ヲ加ヘ、或ハ牛乳ニ耐ヘヌ兒ニハ煎米粉汁ノミヲ持續シテ居リマシタ、夫レデ「經過轉歸」ハ多クハ短時日中ニ輕快若クハ全治シテ居リマス、第二號ノ腎盂腎炎ヲ合併セシモノハ一旦輕快ノ姿ガアリマシタガ、遂ニ死ノ轉歸ヲ取リマシタ、第四號ノ兒モ一旦治癒シマシタガ、母ガ再ビ煎米粉汁ノミノ榮養ヲ與ヘタ爲メ、四ケ月ノ後ニ再發シテ死亡致シマシタ

之ヲ概括シテ申シマスト、本症例ノ重要ナル症狀ハ食思減損、尿利減少、羸瘦、聲音嗄嘶、顏色蒼白、浮腫、眼乾燥症、垂瞼、腹部弛緩、肝萎小、心音高調、大便ノ沃度反應、尿ノ無蛋白、無熱、啼泣發作、及ビ脂肪性ノ食餌ニヨリテ治スルト云フ樣ナ點デアリマス

先ヅザツト、コー云フ樣ナ病狀デアリマシテ、其症狀ニ立チ入テ詳ク御話シスルコトハ時間ガ許シマセズ、又症例ガ少ナイノデ未ダ取留メタコトヲ申上ゲ兼ヌルノデアリマス

ソコデ、私ノ症例ハ所謂「メールネールシャデン」ニ屬スルモノデアルカ、或ハ是ト違テ「乳兒脚氣類似症」ト名クルモノニ近イカ、或ハ一種特別ノ「ヂスペプシー」トスベキカヲ考ヘマスルニ、浮腫ガアリ眼患ガアリ、貧血ガアリ、「アトロヒー」ナドガアリマスカラ、「ヂスペプシー」ナド云フ輕症ノ範圍ヲ越ヘテ、Intermediale Stoffwechselstörung ガアルモノト思ハレマス、夫カラ成程乳兒脚氣ニ似タ所モアリマスガ、「キセロジス」ヤ「ケラトマラチー」ハ乳兒脚氣ニハ勿論、大人脚氣ニモ決シテナイ症狀ト思ヒマ

スルシ、呼吸、脈搏ハ乳兒脚氣ノ樣ニ著シク早クナイノミナラズ、却テ「アラヂカルヂー」ヲ來スモノガアリマス、又浮腫ノ度合モ乳兒脚氣ニ見ルソレヨリハ屢デ且ツ高度ノ樣デアル、其他聲音嗄啞ノ狀態ノ異ルコト、膝蓋腱反射ニ異常ノナキコト、心臟ノ肥大ヲ認メヌコトナドハ、乳兒脚氣ヤ大人脚氣トハ餘程趣ガ違フ樣ニ考ヘラレマス、加之米粉汁榮養ヲ持續シテ居ナガラ、肝油ト高「ヂアスターゼ」トニヨツテ治癒シタ例ナドハ、脚氣ヲ連想スルニ都合ノ惡イ事實ト思ヒマス、夫デ私ノ症例ハ、ツエルニー氏ノ所謂「メールネールシャデン」トモ全然一致シテ居ルトハ申サレマセヌガ、併シ最モ之ニ近イ樣ニ思ハレマス、「ヒペルトニー」ノ少キ所ヤ、浮腫ガ高度デアルト云フ樣ナ相違ノ點ハ、或ハ西洋ノ「メール」ハ主トシテ麥製デアルノニ、日本ノハ米製デアルト云フ樣ナ關係デ說明シ得ラルヽモノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス

夫カラ、ホンノ想像デハアリマスガ、私ノ今申シマシタ症例ヤ、一般ニ所謂「メールネールシャデン」ナルモノハ、本邦ニ多クアル脾疳ト多少似タ點ガアリマスカラ、之ハ將來研究ノ參考ニスベキモノデアロート思ヒマス

姓名	番號	性	年齡
山田村井紺田吉本千田	1.	男	三ケ月
	2.	女	四ケ月
	3.	女	六ケ月
	4.	男	四ケ月
	5.	男	二ケ月

家計	職業	住所	發病前 健康狀態	發病前 食思	發病前 便通	發病前 榮養法	發病年齡	發病時季	誘因	發病後ノ榮養	食思
貧	農	村	健全ニ發育	亢進	一日三―四回	生後參週間母乳、爾來米汁	三ケ月ノ始	六月	寒冒	米粉汁	減
貧	縫裁織工	市	良ク發育	良	三回軟膏狀	生來米汁ノミ	三ケ月ノ終	六月	牛乳	米粉汁	著減
貧	?	村	健全	良	?	生後三ケ月間母乳、爾來米汁ト少量ノ牛乳	四ケ月ノ始	五月	ナシ	米粉汁ト牛乳	減
貧	菓子屋	市	良ク發育	良	?	生後二ケ月間母乳、ト牛乳、爾來米汁ト少量ノ牛乳	三ケ月ノ終	六月	急性ヂスペプシー	米粉汁ト牛乳	減
貧	市	市	健康	亢進	?	生來米煎ト少量ノ「コンデンスミルク」	一ケ月ノ終	十二月	寒冒	米煎ト「コンデンスミルク」	減

症候											
便通	三四回多量	三回	或下痢、或便祕	頻回	一回						
嘔吐	一	一	十	十	十						
尿利	減數	減數	？	？	頻回						
羸痩	著明	著明	著明	著明（但シ浮腫ノ爲メ蔽ハルル）	著明						
氣分	不機嫌	無慾狀嗜眠	？	？	嗜眠						
聲音	嗄嘶	低聲ナルモ嗄嘶ナシ	嗄嘶ナシ	嗄嘶ナシ	嗄嘶ナシ						
咳嗽	輕咳	輕咳（哺乳ノ際）	輕咳	ナシ	輕咳						
顏色	蒼白	帶黃蒼白	帶黃蒼白	蒼白	蒼白						
皮膚	浮腫	浮腫（強）	浮腫（輕）	浮腫	浮腫（強）						
顖門	少シク陷凹	少シク陷凹	少シク陷凹	少シク陷凹	少シク陷凹						
眼	兩乾燥症、左角膜軟化	兩乾燥症、及角膜軟化	兩結膜加答兒	異常ナシ	兩結膜加答兒、眼瞼緣炎						
頰	垂頰	垂頰	垂頰	垂頰	垂頰						
口脣舌	乾燥	乾燥、鷲口瘡	乾燥、鷲口瘡	口角ラガーデン	口角ラガ！デン						

症候											
腹部	甚ダ弛緩	甚ダ弛緩、稍ミ膨隆	甚ダ弛緩	甚ダ弛緩	稍ミ膨隆少ク弛緩						
肝	小且ツ硬	比較的大且ツ硬	小	小且ツ硬	小且ツ硬						
脾	觸レズ	觸レズ	觸レズ	觸レズ	觸レズ						
腸管	明ニ觸レ易	？	明カニ見ラレ得	？	常態						
腱反射	膝蓋腱反射常	膝蓋腱反射常	膝蓋腱反射常	膝蓋腱反射常	膝蓋腱反射常						
筋	少シク硬	少シク硬	？	トーヌス通常	？						
肺	僅カニ笛聲	異常ナシ	異常ナシ	異常ナシ	呼吸音一般ニ少シク粗裂						
心	音強清亮	音強不純	異常ナシ	音強境界通常	音強清朗境界通常						
脈搏	？	正整一三八至（無熱時）	？	正整充實	一二〇至、性質尋常						
呼吸	？	正整遲徐	？	？	？						
體溫	？	時々三九〇迄上昇	三七・〇	三六・七—三七・二	三五・四—三七・一						
體重	三五三〇G	？	三七五〇G	四五三八G	二八五〇G						
色	灰白黃色	帶褐黃色	？	帶綠黃色	帶綠黃色						

大便ノ性狀					尿ノ				
硬度	臭氣	性	異常成分 肉眼的	異常成分 鏡檢的	異常成分 化學的	色	清濁	性	沈渣	異 蛋白	異 糖
有形	?	酸性	?	?	?	藁黃色	透明	酸性	?	ナシ	ナシ
軟膏樣	僅ニ糞臭	酸性	粘液及フロックケン等ナシ	澱粉細屑、植物殘片（僅）、圓形細胞、鵞口瘡菌	沃度反應強	藁黃色	著シク渾濁	弱酸性	鏡檢上膿球、腎上皮圓柱、細菌	一 0/00	ナシ
?	?	?	?	?	?	藁黃色	僅カニ渾濁	酸性	?	ナシ	ナシ
軟膏樣	?	酸性	粘液ナシ	澱粉粒ヲ認メズ	沃度反應強	水樣	透明	弱酸性	?	ナシ	ナシ
軟膏樣	酪酸樣臭	酸性	粘液及フロックケン等ナシ	硫化蒼鉛結晶、鵞口瘡樣菌、グラム陰性菌（僅）	沃度反應強	水樣	透明	酸性	?	ナシ	ナシ

症狀 常	成分 ギアツオ反應	成分 インヂカン	成分 膽汁色素	成分 アチエトン	其他ノ症候	合併症	療法	經過轉歸
	?	+	?	?	號泣發作「インテルトリゴ」鼠蹊腺腫大	輕氣管枝加答兒	肝油 カンフル コンデンスミルク	角膜軟化ノ他三日ニシテ已ニ皆輕快ニ向フ其後來ラズ
	?	?	?	?	臀部小紅斑子痛樣發作「チアノーゼ」ナシ	膀胱、腎盂、腎炎	肝油、ザリチールサン、フェニール、寒芙浸、米粉糊、持續	二日ニシテ尿ノ他皆一旦輕快ニ向ヒシモ更ニ増惡シ入院後死
	?	+	?	?	腹痛樣發作「チアノーゼ」ナシ	ナシ	肝油 1/3 牛乳 1/3 米煎	五日ニシテ著シク輕快其後來ラズ
?	—	—	?	?	腹痛樣發作腺腫大「インテルトリゴ」「チアノーゼ」ナシ	外聽道小「フルンケル」	肝油 タカヂアスターゼ 四%米煎加牛乳（漸次増量）	八日ニシテ殆ンド治ス
—	—	—	—	?	腹痛樣發作腺腫大「チアノーゼ」ナシ	氣管枝加答兒	肝油 タカヂアスターゼ 米煎	五日ニシテ輕快ニ向ヒ二週間ニシテ全治ノ觀ヲ呈ス